

ART SETOUCHI イベント

「中川達彦『ライトハウス号が行く～瀬戸内本島編～』を開催します

瀬戸内国際芸術祭実行委員会（会長：浜田恵造香川県知事）では現在、瀬戸内国際芸術祭の会場となった島に引き続き残る作品を継続公開する「ART SETOUCHI」を開催中です。

今回、中川達彦氏が移動式の小さな小屋「ライトハウス号」を本島に持ち込み、約一週間滞在して島内外の色々な人のポートレートを撮影し、写真を展示するイベントを開催します。

また、イベントの開催に合わせて瀬戸内国際芸術祭 2016 の出展作品、眞壁陸二「咸臨の家」を公開します。

<中川達彦「ライトハウス号が行く～瀬戸内本島編～」>

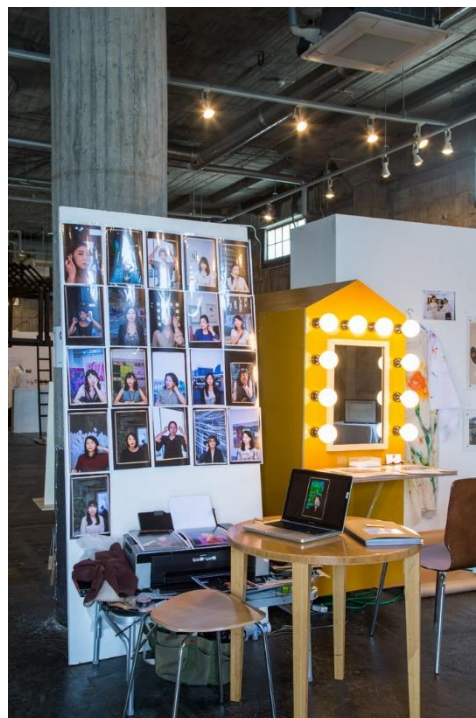
日時 | 撮影・写真展示：2018年8月11日（土）～8月18日（土）9:00～16:30

場所 | 撮影：本島泊港、木鳥神社など島内各所を移動しながら撮影

写真展示：本島パークセンター

内容 | 中川達彦氏が作成した「ライトハウス号」を使って、職業や年齢を問わず色々な人のポートレートを撮影し、展示します。

【イベントイメージ】



● 「ライトハウス号」とは

中川達彦氏が、2017年に横浜のBankART1929のアーティストインレジデンスで制作した移動式の小さな小屋の作品。正面には周りを電球で囲まれた鏡が取り付けられている。この鏡はマジックミラーになっており、小屋の内部から写真撮影ができる。女性が自身で一番気に入っている「顔」は、化粧台の前で納得するメイクができたときに、鏡の中の自分自身に見せる顔であり、それは他の誰にも見せていない顔であるという一説があり、そこから着想を得た作品。



● 中川達彦 略歴

大阪生まれ。PHスタジオのメンバーとして数々のアートプロジェクトに携わる傍ら、アーティストの作品写真の撮影を行っている。近年は、主にBankART1929の作品やプログラムの撮影に従事。その縁もあり、横浜の新港ハンマーヘッドスタジオにて活動。その後、宇徳ビル・ヨンカイにライトハウスのメンバーとして参加する。2017年にBankART1929のアーティストインレジデンスにてライトハウス号を制作。そこで撮影した写真展を横浜の画廊で開催。その後、韓国光州市立美術館のレジデンスプログラムに参加し、数カ月の滞在制作を行い、現在に至る。



< 眞壁陸二 「咸臨の家」 >

開館日時 | 2018年8月11日(土)、12日(日)、18日(土)、19日(日) 9:00~16:30

鑑賞料 | 300円

その他 | 屋外作品(石井章「Vertrek『出航』」、川口豊・内藤香織「シーボルトガーデン」、村尾かずこ「漆喰・鋳絵かんばんプロジェクト」)は、常時鑑賞できます。



Photo: Yasushi Ichikawa

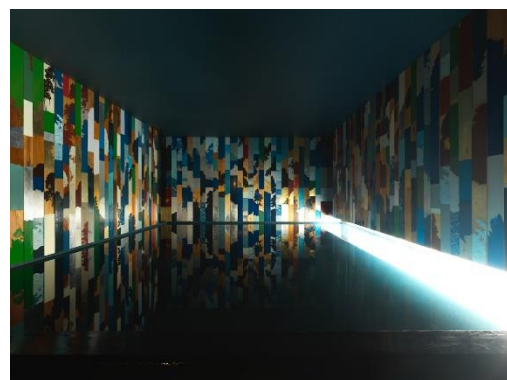


Photo: Yasushi Ichikawa